

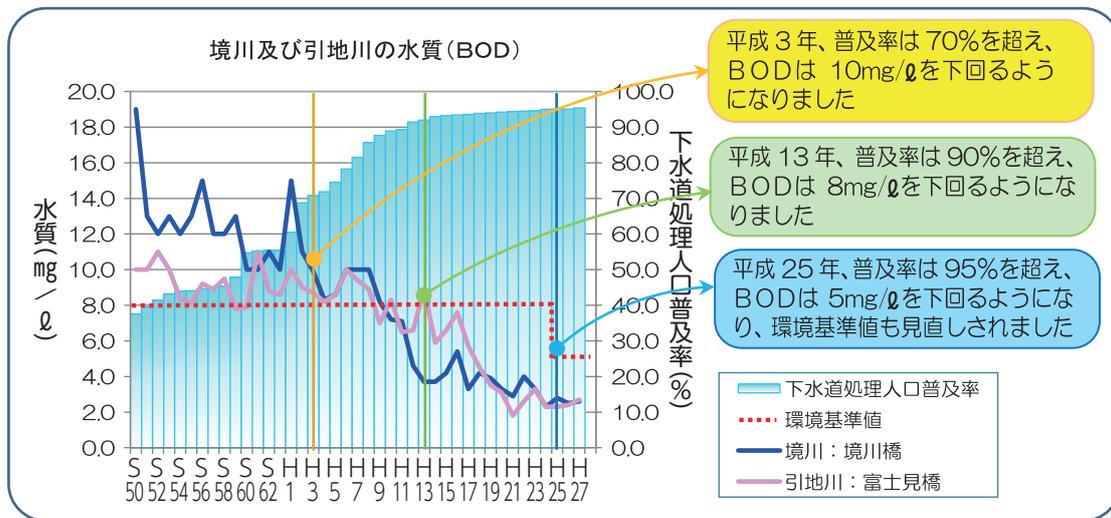


◆コラム2：下水道整備と河川や海の水質改善のはなし

下水道整備による川や海（公共用水域）の水質改善

下水道の重要な役割の一つとして、家庭や工場などから発生する汚水をきれいな水に処理して、川や海に放流し、公共用水域の水質改善や豊かな自然環境の保全に寄与することがあげられます。

藤沢市では昭和 26 年に下水道事業に着手し、下水道普及に努めるとともに、普及の拡大に伴い、公共用水域の水質は大きく改善してきました。



BODとは？

BODとは、生物化学的酸素要求量といって、Biochemical Oxygen Demand の略です。水中の有機物が微生物の働きによって分解されるときに消費される酸素の量のことで、河川の有機汚濁を測る代表的な指標です。単位は、一般的に mg/ℓ で表し、数値が大きくなれば、水質が汚濁していることを意味します。

BOD 200 mg/ℓ

家庭からの排水や、浄化センターへ流入する汚水の水質程度。濁っていて、汚い水です。

下水→



BOD 10 mg/ℓ

川の水質では、日常生活で不快を感じない限度とされています。藤沢の河川も昔は 10mg/ℓ を超える水質でした。



BOD 8 mg/ℓ

農業用水としての利用が可能です。藤沢市では境川上流部の環境基準値となっています。



BOD 5 mg/ℓ

コイやフナが生息できる水質で、引地川や境川下流部の環境基準値となっています。浄化センターからの処理水も同程度まで処理できています。

処理水→

